

ほほ笑み便り

NO. 1



令和3年9月28日
杉並区立八成小学校
校内委員会

八成小学校の校内委員会から特別支援教育だより「ほほ笑み便り」を発行します。このお便りで八成小学校が特別支援教育として取り組んでいることや手立て、ヒントを盛り込みながらお知らせすることで、家庭、地域、学校が力を合わせてかけがえのない子どもたち一人一人の成長に向けて協力していければ、という願いをもっております。

特別支援教育とは？

人はだれでも、多かれ少なかれ得意なことと苦手なことがあるものです。それは、私たち大人も子供も同じことです。例えば、勉強はとてもよくできるのに友達とすぐにケンカをしてしまう、ゲームをしているときはとても集中しているのに食事中は5分と座ってられない、算数の計算問題はできるのに文章問題になると途端にできなくなってしまう、など。そんな子供の様子を見守っている大人は、「やればできるはずなのに怠けている」「わざとやっている」と思い、強く叱ってしまうことがあるかもしれません。しかし、子供としては、本人なりに一生懸命考えて努力していても、それが報われずに困っていることがあります。

特別支援教育は、「できないのはなぜだろう？」「どうしたらできるようになるのだろう？」と子どもの気持ちに寄り添いながらそれぞれのニーズを把握し、得意なことやよさを生かしながら、苦手なことや困っていることに合わせて、一人一人の子供に合った支援を実践する教育です。

八成小学校の特別支援教育

学校生活の中で

日々の学校生活の中でどの子にとっても生活しやすく、学びやすい環境づくりや教育実践を行なえるよう全教職員で取り組んでいます。今年度は8月末に特別支援教育についての校内研修を行うなど、一人一人が特別支援教育についての理解を深められるよう努めています。

校内委員会

校長、副校長、特別支援教育コーディネーターを中心に関係教職員で集まり、児童理解と具体的な支援の手立てを検討しています。担任一人で支援を考えるのではなく、校内で情報共有を行い、連携を取りながらそれぞれの子供のニーズに応じた「特別支援教育」に取り組んでいます。

関係機関との連携

スクールカウンセラー、巡回心理士、支援チームなど専門家に定期的に訪問してもらい児童理解や支援方法についての助言を受けています。

また、特別支援教室（はちなり教室）の巡回指導教員とも日々情報交換を行いながら連携した指導を行うよう努めています。

お子さんの学習面や生活面での困り事や心配なことがあれば、遠慮なくご相談ください。相談は、担任、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーのいずれでもかまいません。秘密は厳守しつつ、必要に応じて校内で連携をとりながら校内委員会で具体的な対応に取り組んでいきます。

連絡先

特別支援教育コーディネーター

川原 未来（音楽専科） 03-3399-3138（学校代表）

河合 香織（はちなり教室） 03-3399-3181（はちなり教室直通）

スクールカウンセラー 【毎週火曜出勤】

浦山 伸悟 03-3399-3160（スクールカウンセラー直通）